

# 第 50 回アジア開発銀行 (ADB) 年次総会開催に伴う CO<sub>2</sub>排出量をカーボン・オフセットしました！ ～「はまっ子どうし The Water」ADB 開催支援ボトルが大活躍！～

2017 年 5 月 4 日 (木) ～ 7 日 (日) に横浜で開催された第 50 回アジア開発銀行 (ADB) 年次総会の会議場 (パシフィコ横浜) と会議場周辺のホテルでの電力・ガス・水などの使用等に伴う CO<sub>2</sub>排出量のうち、3,000 トン分の CO<sub>2</sub>をカーボン・オフセット (埋め合わせ) しました。

## 1 横浜市オフィシャルウォーター

### 「はまっ子どうし The Water」ADB 開催支援ボトル

開催期間中には、会議場であるパシフィコ横浜ほか、視察ツアー等の様々な場面で、「はまっ子どうし The Water」の ADB 開催支援ボトル (約 10,000 本) が配布され、ADB 年次総会を盛り上げました。

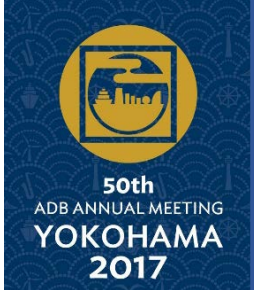


会議場の様子

## 2 ADB 年次総会のカーボン・オフセットの実施内容

「はまっ子どうし The Water」ADB 開催支援ボトルの売上の一部を活用し、ADB が支援しているインドでの風力発電プロジェクトにより発行された 3,000 トン-CO<sub>2</sub>の京都メカニズムクレジット (CER; 認証排出削減量) を購入しました。このクレジットを無効化・償却することで、第 50 回 ADB 年次総会の開催に伴う CO<sub>2</sub>排出量のうち 3,000 トン分の CO<sub>2</sub>をカーボン・オフセット (埋め合わせ) しました。この取組を通して、ADB が目標とする「持続可能な会議運営」に貢献しました。





### 第 50 回アジア開発銀行年次総会横浜開催

～Building Together the Prosperity of Asia ともにひらく、アジアの未来～

日程：2017 年 (平成 29 年) 5 月 4 日 (木) ～ 7 日 (日)

会場：パシフィコ横浜及び周辺ホテル

参加者：各国財務大臣、中央銀行総裁、民間金融機関関係者、NGO、報道関係者など

登録者数 約 6,000 人 / 参加者数 約 5,000 人 (過去最高)

公式 WEB : <http://adb2017.city.yokohama.lg.jp>

ADB 2017

検索

### お問合せ先

文化観光局 MICE 振興課 アジア開発銀行年次総会担当課長 河合 太一 (ADB 年次総会に関すること)

Tel 045-671-4035

水道局 公民連携推進課長 小川 真美 (カーボン・オフセットに関すること)

Tel 045-633-0113

裏面あり

## 【参考】

### ◆カーボン・オフセット

日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

### ◆京都メカニズムクレジット

京都議定書に定められる手続きに基づいて発行されるクレジットのことです。京都メカニズムとは先進国と途上国が共同で実施する途上国における排出削減プロジェクトによる排出削減量を投資国がクレジット CER (Certified Emission Reduction) として取得し、京都議定書上の自国の約束達成に用いることができる制度です。



### ◆国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局発行のカーボン・オフセット証書の内容

#### 【プロジェクト名】

Maharashtra 州 50.4 MW Tata 風力ファーム

#### 【無効化・償却の理由】

横浜市で開催された第 50 回 ADB 年次総会を記念して販売した横浜市オフィシャルウォーター「はまっ子どうし The Water」の売上げを通じて、横浜市の「環境未来都市」構想に基づき、横浜市水道局は 3,000CERs (3,000 トン-CO<sub>2</sub>に相当) を購入し、温室効果ガス (GHG : Greenhouse Gases) 排出量をオフセットしました。

 <p><b>United Nations</b> Framework Convention on Climate Change</p>	<p>DATE: 22 May 2017 REFERENCE: VC/124/2017</p>
<p><b>VOLUNTARY CANCELLATION CERTIFICATE</b></p>	<p><b>Presented to</b> Project 2819 : 50.4 MW Tata Wind Farm - in Maharashtra</p> <p><b>Reason for cancellation</b> To offset GHG emissions in pursuance of the city of Yokohama's carbon offset policies and the "FutureCity" Initiative supported through the sale of "Hamakko-Doshi the water" bottles at the ADB's 50th Annual Meeting held in Yokohama. Beneficiary of the request is "Yokohama Waterworks Bureau"</p>
	<p><b>Number and type of units cancelled</b> <b>3,000 CERs</b> Equivalent to 3,000 tons of CO<sub>2</sub></p> <p>Start serial number: IN-5-189092195-1-1-0-2819 End serial number: IN-5-189095194-1-1-0-2819</p> <p>The certificate is issued in accordance with the procedure for voluntary cancellation in the CDM Registry. The reason for cancellation included in this certificate is provided by the canceller.</p>

国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局発行のカーボン・オフセット証書